

示道塾

研鑽のすすめ

人間力を鍛錬する 唯一無二の学びの場

人工知能を中心とする産業革命が進展する中、既存の知識・技術を習得する「研修会」ではなく、共創力や調和力、決断力などの人間独自の能力を磨くために、参画者同士が研鑽し合う学びの場、「学習会」が求められています。

激動する社会で、社員が個々に最善を問い、勇気を出して実践する主体性の根源こそが人間性知能、いわゆる人間力です。示道塾は、その発達を加速させるたしかな手立てと組織文化の醸成を実践的に学ぶ場です。



人財を育む風土醸成、
リーダーの育成が急がれます

人工知能とロボット化による第4次産業革命の進展に伴って、労働市場は大きく変わりつつあります。人工知能によって「複雑系業務」(上図)が自動化され、ロボティクスと外国人労働者によって「操作系業務」「奉仕系業務」の労働者が置き換わるようになります。必然として、高度な人間力を要する「共創系業務」に対応できる人財を育む風土醸成、リーダーの育成が急がれます。



人間力の中核は、大脳の「前頭連合野」にあります。常に問題解決を志向して「自ら考え、聴き、伝え、決断、実践、省察する」という営みを鍛錬することで、人間は生涯をかけて発達することが出来ます。有史以来、「和」を重視して築き上げられてきた日本の文化や伝統は、高度な人間力の発達によって実現されていたのです。しかし終戦後、占領軍であった米国GHQによるウォー・ギルト・インフォメーション・プログラムに代表される様々な工作によって歴史が歪曲され、修身を求める教育制度が改変され、日本固有の文化や伝統が退廃が続けながら現代に至っています。いつしか我が國に生きる人々の多くは、世論に同調するばかりで主体性に欠け、自分らしい人生を生きる氣概を失ってしまいました。

今こそ、人間力すなわち「人間性知能」発達の理論と仕方を学び、社員や家族の自立主体力(自らの意志で能動的、創造的に行動する力)と自律他力(利己心を抑えて他者に貢献することにより感謝と調和を生み出す力)を錬磨することを急がなくてはなりません。示道塾での実践的な学びを自社や家庭に持ち帰り、大切な人々に押し広げること。お客様や仲間、家族から真に喜ばれ、「あなたに逢えてよかった」と求められる存在に成長することによってこそ、社員の皆さんの幸福が実現されます。そしてその結束が環境変化にしなやかに適応し、進化する組織の再起力(レジリエンス)を高めるのです。

人間の変容には、ふさわしい機会と手立て、時間が求められます。まず「本物の自分、本来の自分を生きる」という強い意志が必要です。当塾は、講師陣の企業人としての試行錯誤から得た実践知に、心理学、脳科学、組織論や最新の経営学などを幅広く織り交ぜて体系化した、唯一無二の人間力鍛錬の機会となっています。学習範囲が広く、また少人数開催のため、時間と費用の面において手軽なものとはいえず、恐縮ですが、対症療法のコストではなく、未来実現の投資として、ご参画を鋭意にご決断賜れば幸いです。

大義

経済

至高篇

示道塾

対象：経営者・幹部

社員、顧客、社会から尊敬され
求められ続ける無敵の経営力

個人の価値観が変容し、言われたことしかしない人間、ルールどおりにしかやらない人間が増えています。大切なことは主体的な創意工夫。この問題さえ解決できれば経営は自在なものになるとも言えます。塾頭の大原(至高篇では横田)が現場で得た知見をもとに、人財力を競争資源とする経営を実現するための「共創型リーダーシップ」の要諦をお伝えします。

立志塾

対象：現場長～幹部候補

経営と現場を繋ぎ、意志力・創発力を高める力

修己治人という言葉があります。リーダーは、まず自身の自我を律して成長を目指すこと。それでこそ部下や後輩が手本として、それぞれに成長し、チームが一体となる、という意味です。「人間の成長」を促すための手立てと考え方を学ぶ場で、示道塾と深く連動した内容です。同じ組織から複数人で参画されると、組織での対話、共創力が飛躍的に高まるでしょう。

克己塾

対象：新入社員～若年社員

幼心を打ち捨てて己を磨く心を構える

仕事は何か。何のために私たちは働くのか。そうした基本的なところから考え方を健全化し、継続的な成長力の土台を築くための学習会です。集まった様々な会社の若年者同士で相談し合い、励まし合いながら、切磋琢磨していきます。講師は「わかりやすさ」で定評のある結城が務めます。

道徳

示道塾のお問い合わせはこちら



088-884-5118



088-813-0155

Email

seminar@vistaworks.co.jp

WEB

ビスタワークス

検索

株式会社ビスタワークス研究所 (担当：長山・窪田)